

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	身体障害者ケア付住宅家賃助成事業		事業コード	11310

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	6年度
施策名	第1施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

市生活ホーム等家賃助成事業補助金交付要綱

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
ケア付住宅利用者の家賃を助成する(家賃の1/2を助成)ことにより、経済的負担を軽減し、地域での自立した生活を支援する。		ケア付住宅の運営主体(対象は重度身体障害者)	
		対象数	1法人と1団体(入居者19人)
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・ケア付住宅 4か所 4,872千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

## 4 評価指標

指標名	経済的自立達成率		
指標式	家賃助成額/入居者が自立するために必要とする家賃必要額		
指標設定の意図	家賃助成が入居者の経済的自立にどの程度効果があがっているかを評価する		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	4,152	4,152	4,872	4,872	5,592
	人員・時間数	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
	人件費	148	148	191	191	191
	その他経費					
	合計	4,300	4,300	5,063	5,063	5,783
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	理由 :	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	利用者の経済的負担が軽減され、地域での自立が図られている。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	利用者の収入は年金収入・親からの仕送り等であり、経済的負担の軽減を図る意味が必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	利用者の収入は年金収入・親からの仕送り等であり、経済的負担が軽減され地域での自立が図られている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市単独補助事業であり、継続して市が補助を行っていく必要がある。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	利用者の経済的負担の軽減が図られている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	利用者の経済的負担が軽減され、地域での自立が図られている。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 利用者の経済的負担が軽減され、地域での自立が図られている。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 平成6年度から補助限度額は月12万円(家賃の1/2)としており、家賃が月24万円以上のケア付住宅が4ヶ所のうち3ヶ所存在する状況では、補助額を減らすことは困難であると思われる。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	平成13年度 藤沢市 2箇所 委託料 23,000千円の中に含めている
			平成13年度 平塚市 1箇所 委託料 8,630千円の中に含めている
今後の進め方		説明	利用者の経済的負担を軽減する意味で現行の補助額を継続交付していきたい。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--